

寝たきり予防のために 歯科医院で探る骨粗鬆症の危険性

気になりませんか？ あなたの骨

骨粗鬆症になると転倒などにより骨折が起こり、寝たきり状態になりやすいといわれています。また、50歳以降の女性では、高度の骨粗鬆症患者ほど、歯周病によって早期に歯が失われ、総入れ歯になるとの報告があります。

歯槽骨質密度

パノラマX線写真から、骨粗鬆症のリスクが判ります。

最近、歯科治療の際に撮影されるパノラマX線写真により、骨粗鬆症の予備判定が可能なのが、広島大学の田口明先生らの調査により明らかになってきました。

骨粗鬆症でお薬をのまれている方へ

骨粗鬆症の治療には、ビスホスホネート系薬剤が処方される場合があります。服用期間中に抜歯・インプラントなどの外科的処置を行うことにより、極めて稀ですが顎の骨が壊死することがあります。現在、ビスホスホネート系薬剤を服用されている場合には、歯科医師に必ず伝えるとともに、日頃から口の中の清掃を心がけ、歯科医院で定期的な診査とクリーニングを受けられるよう、お願いいたします。

当院では骨粗鬆症の診断・治療のため、医科への紹介をおこなっています。



社団法人 愛知県歯科医師会

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-18
TEL:052-962-8020 FAX:052-951-5108
<http://www.aichi8020.net/>

協力：社団法人 愛知県医師会